

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	商業・サービス業の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	商工水産課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	—
	施策コード	A-2-3	シート作成者名	新家 敏克

① 施策の現状と課題	<p>既存の商業地域における商業集積の変化、郊外型大型店の進出により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は一層厳しくなっています。</p> <p>本市では、行橋駅東西に多くの商業・サービス施設が進出しており、特に駅西側には新たな商業核が形成されています。一方、駅東側の既存商店街は空洞化が進み、厳しい状況が続いています。これまでに、商店街にコミュニティ広場の設置、集客力のあるイベントの実施など商店街活性化に取り組んできました。また、商業者、農協、漁協、地域住民らで構成する「行橋商店街活性化がんばろう会」を立ち上げ、コミュニティ広場を活用した料理教室や文化祭の開催、コミュニティバスの運行、商店街散策マップの作成などにも取り組んできました。しかし、なかなか成果が見えてきません。</p> <p>多くの商業・サービス業がある中心商店街を活性化させるには、商店街の役割や商業形態の見直しも必要ですが、最も重要なのは魅力ある商店づくりといえます。大型店や他の商業集積地では求めることができない、消費者が必要とする物とサービスを提供できる店づくり、消費者の購買意欲が沸くような店づくりを進めていく必要があります。それと同時に、道路や景観など商業地域を形成する周辺の整備も進めていく必要があります。</p>
② 施策の基本方針	<p>消費者が物・サービスを求めて、訪れたいような商店づくり・商業地形成づくりを積極的に支援していきます。また、商業者の経営革新の推進を支援します。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 商業診断の実施</p> <p>商店街の現状を把握するために、商業圏における消費者ニーズ調査を実施するとともに、中心商店街を対象とした商業診断を実施します。</p>
	<p>主要施策名(2) まちづくり勉強会の実施と魅力ある商業地域形成の推進</p> <p>商業診断の結果を参考に、商店街で勉強会を重ね、組織の連携と強化を図り、商店街が進むべき方向性を見出します。特に、広域幹線道路整備に対応した市内道路ネットワークの変化等を見通した魅力ある商業地形成に努めます。</p>
	<p>主要施策名(3) 魅力ある商店づくりの推進</p> <p>商工会議所・中小企業診断士らと協力し、魅力ある商店づくりを推進します。</p>
	主要施策名(4)
	主要施策名(5)
	主要施策名(6)
	主要施策名(7)

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績		目標値				達成度の説明(H24年度)		
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度		H28年度	
目標指標	まちづくり勉強会の開催回数(回)	0	5	5	5	5	5	5	中小企業診断士を講師に迎え、「集客とイベント」をテーマに4回の勉強会と視察研修を1回実施した。	
	経営革新事業の参加店舗数(店舗)	0	0	1	5	2	2	2	1店舗が経営革新事業に参加。	
	商店街の活性化に関する市民満足度(%)	7.1	—	—					10.0	アンケート調査等を実施していないため、市民満足度を測ることができない。

⑤	事務事業名	事務事業の内容	事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
			H23年度実績値	H24年度実績値	H25年度見込額	
施策構成 事務事業	1	まちづくり勉強会事業	1,883	2,283	2,282	1
	2	商工業対策事業	10,717	8,087	11,777	2
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					

⑥ 施策全体の今後の方針と展望 (主要部長の意見)	<p>駅東口の既存商店街は、行橋駅の高架事業及び西口の区画整理や大型量販店の進出で厳しい状況が続き、後継者も減って来ております。しかし、駅東口商店街の活性化は今後の、市の繁栄のためにも必要であり、重要な課題です。まずは、商店街の連携を図るため、まちづくり勉強会を実施し商店街の進むべき方向性を見出す組織づくりを確立していき、その上で商店街と今後の展望を図るような素案を考えていきます。</p>
---------------------------------	--

⑦ 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等	<p>車社会の進展などライフスタイルの変化に伴い全国的に旧来型の商店街の衰退は著しく、各地で改善に向けて様々な取り組みが行われてきたが、依然として厳しい状態が続いている。駐車場などハード面だけの問題だけではなく、商店街自身が消費者のニーズに応えきれないことが一番の原因であると思われる。訪れたい、買いたい魅力的な商店づくり、商業形態の転換等のためには、商業者の意識改革や経営革新への努力が欠かせない。行政としては世代交代が進んでいることも考慮しながら、先進事例を取り入れたり、様々な視点からのチャレンジを計画、推進して、新しい形での復活に向けた取り組みを行ってほしい。</p> <p>また、このシートに記載している事務事業からは、中心市街地(コミュニティ施設や文化施設を含んだ商業地)の活性化に対する具体的な方策が見えてこない。具体的な取り組みを実施していないのであれば、早急に事業化すべきではないか。</p>
--------------------------	---

⑧ 施策の最終方針 (市長の意見)	<p>これまでに中心市街地活性化対策として、美夜古回廊イベント広場や足湯などのコミュニティ施設のほか、旧百三十銀行の整備などハード面を実施してきました。しかし、これらの施設を活かしてどう商店街を活性化していくのかというソフト面の対策が十分に行われていない状況です。市として、中心市街地活性化のため、商店街の集客につながるようなコミュニティ施設の検討を商店街や地域住民の方と一緒に進めて行っていますが、まずは、商業者の意識改革、そして魅力ある個店づくりを中心に事業を実施していきたいと思っております。</p>
-------------------------	---